

「博士課程教育リーディングプログラム」中間評価結果

機関名	東京工業大学	整理番号	F03
プログラム名称	グローバル原子力安全・セキュリティ・エージェント養成		
プログラム責任者	岸本 喜久雄	プログラムコーディネーター	齊藤 正樹

(評価決定後公表)

(総括評価)

計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

[コメント]

リーダーを養成する学位プログラムの確立については、明確な理念のもとに、専門知識と社会・国際性を養うカリキュラム、特殊性の高い科目、実習の整備と実施がなされている。全寮制道場が開設され、教員指導のもと自主的に切磋琢磨する類例のない極めて意欲的な取組がなされ効果をあげている。オンリーワン性の高い充実した学位プログラムの構築が完成に近づいており、非常に高く評価できる。

産学官民参画による修了者のグローバルリーダーとしての成長及び活躍の実現性については、教員との討論、インターンシップ、国際セミナー、道場生活などにより俯瞰力や国際性を十分に修得できると期待される。原子力安全・セキュリティ科目群や道場科目群（リスクコミュニケーションや危機管理等の科目群）は関連機関の理念共有による参画を得て実施され、外国派遣も実施されたことも高く評価される。自身のキャリアパス像を描けるようになった学生が増えていることは喜ばしい。

グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備については、優秀な学内教員と第一級の招へい教員により、強力な指導体制が構築されている。またメンター制が導入され効果をあげている。更には、学長、プログラム責任者、プログラムコーディネーター、プログラム担当者が共通理解と高い熱意を持って意欲的にプログラムを推進している点や、活発な交流と連携で強力な国際ネットワークが形成されている点など、非常に優れた指導体制が整備されたと高く評価できる。

優秀な学生の獲得については、広範で積極的な PR や説明会に加えて門戸拡大の検討など多大な努力がなされていることは高く評価できるが、定員割れの状況であることは否めない。今後も更なるキャリアパスの明確化や広報強化も含めて努力を続ける必要がある。

世界に通用する確かな質保証システムについては、規程による修了要件の明確化、内外審査員 2 段階選考による優秀な学生の確保、道場での切磋琢磨、Qualifying Examination (QE) の実施、内外審査員による学位審査体制の整備がなされており、適切な質保証がなされると期待される。

事業の定着・発展については、全学的に長期マネジメント体制の構築と本プログラムの発展・継承のための構想提示の取組がなされていることは高く評価できる。しかし、財源については具体的な決定に至っていないので、今後一層の努力が求められる。